

発行No. : ES01-024

発行月 : 2001年03月

## ワンポイントサービス情報

松下電器産業株式会社  
A V C 社  
放送システム事業部

件名 : 編集コントローラの設定

機種名 : AJ-HD150

AJ-HD150と編集コントローラを接続する場合、VTR側とコントローラ側の設定を各々実施してください。

対象コントローラ : BVE-600  
BVE-700  
BVE-900K  
BVE-910  
BVE-2000  
BVE-9000  
BVE-9100  
BVE-800  
AJ-A900

# AJ-HD150 接続時の各コントローラの設定

- VTR側のセットアップメニュー設定値は注釈のない限り出荷値設定とする。

## BVE-600 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER, PLAYER とともに以下の設定にする。

	BLOCK-1								BLOCK-2						
	BYTE								BYTE						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-HD150 (PLAYER)	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	07	FF	00	81	3D	FF
AJ-HD150 (RECORDER)	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	01	FF	00	81	3D	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

BLOCK-1 BYTE-5 (Edit Delay) : 08 = -6フレーム

BYTE-6 (EE Delay) : 08 = -6フレーム

BYTE-8 (Trajectory) : 上位バイト“8” = CUE UP WITH DATA による CUE UP

BLOCK-2 BYTE-2 (Start Delay) : 07 = 7 frame (Player) , 01 = 1 frame (Recorder)

## BVE-700 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER, PLAYER とともに以下の設定にする。

( PVW MODE = EE の場合の最適値 )

	BLOCK-1								BLOCK-2							
	BYTE								BYTE							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-HD150 (PLAYER)	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	07	FF	00	80	3D	FF	00
AJ-HD150 (RECORDER)	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	01	FF	00	80	3D	FF	00

BLOCK-1 BYTE-5 (Edit Delay) : 08 = -6フレーム

BYTE-6 (EE Delay) : 08 = -6フレーム

BYTE-8 (Trajectory) : 上位バイト“8” = CUE UP WITH DATA による CUE UP

BLOCK-2 BYTE-2 (Start Delay) : 07 = 7 frame (Player) , 01 = 1 frame (Recorder)

BYTE-8 (Pre Read) : 00 = ヘッド無し, 01 = ヘッドあり

## BVE-900K, BVE-910 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER, PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2						
	DATA								DATA						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
AJ-HD150 (PLAYER)	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	07	FF	00	81	3D	FF
AJ-HD150 (RECORDER)	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	01	FF	00	81	3D	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-4 (Min Preroll) : 5A = 3sec

DATA-5 (Edit Delay) : 08 = -6フレーム

DATA-6 (EE Delay) : 08 = -6フレーム

DATA-8 (Trajectory) : 上位バイト“8” = CUE UP WITH DATA による CUE UP

CONSTANT-2 DATA-2 (Start Delay) : 07 = 7 frame (Player) , 01 = 1 frame (Recorder)

DATA-3 (After Sync Delay-)

## BVE-2000 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER, PLAYER とともに以下の設定にする。

	DATA														
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
AJ-HD150 (PLAYER)	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	07	FF	00	81	3D	FF
AJ-HD150 (RECORDER)	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	01	FF	00	81	3D	FF

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

DATA-04 (Min Preroll) : 5A = 3sec

DATA-05 (Edit Delay) : 08 = -6フレーム

DATA-06 (EE Delay) : 08 = -6フレーム

DATA-08 (Trajectory) : 上位バイト“8” = CUE UP WITH DATA による CUE UP

DATA-10 (Start Delay) : 07 = 7 frame (Player) , 01 = 1 frame (Recorder)

## BVE-9000, BVE-9100 の設定

1. VTR デバイス定数を RECORDER, PLAYER とともに以下の設定にする。

	CONSTANT 1								CONSTANT 2							
	DATA								DATA							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-HD150 (PLAYER)	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	07	FF	00	81	3D	FF	5A
AJ-HD150 (RECORDER)	20	25	00	5A	08	08	03	8A	0C	01	FF	00	81	3D	FF	5A

(表中の網掛け部は BVW-75 設定からの変更項目)

CONSTANT-1 DATA-4 (Min Preroll) : 5A = 3sec

DATA-5 (Edit Delay) : 08 = -6フレーム

DATA-6 (EE Delay) : 08 = -6フレーム

CONSTANT-2 DATA-2 (Start Delay) : 07 = 7 frame (Player) , 01 = 1 frame (Recorder)

## VTR デバイス定数について

BVE-600 / BVE-900 / BVE-900K / BVE-9000 / BVE-2000

BLOCK	BYTE	項目	内容
1	1 2	Device Type	VTR のタイプを設定。
	3 4	Min Preroll Time	VTR が必要とする最小限のプリロール時間を設定。
	5	Edit Delay	VTR に REC コマンドが送出されてから、実際に記録が始まるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	6	EE Delay	VTR に PB/EE コントロールコマンドが送出されてから、実際に VTR が PREVIEW モードになるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	7	Overrun	プリロール停止時、テープがプリロール点を過ぎて余分に走る時間を補正。(フレーム単位)
	8	Trajectory Const	プリロール時の最適な弾道カーブを規定。(収束の悪い VTR ほど大きな値をとる.) 上位バイト "8" = CUE UP WITH DATA による CUE UP <sup>1</sup>
2	1	TC Read Delay	テープが走り出してから、実際にタイムコードの読み取りが始まるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	2	Start Delay	VTR に走行コマンドが送出されてから、実際に VTR が立ち上がるまでの遅延時間を補正。(フレーム単位)
	3	After-Sync Delay -	調相が完了して PLAY 走行に移行するとき、低速方向から正しい位置にサボロックするのに最適なコマンド遅延時間を設定。(フレーム単位)
	4	After-Sync Delay +	調相が完了して PLAY 走行に移行するとき、高速方向から正しい位置にサボロックするのに最適なコマンド遅延時間を設定。(フレーム単位)
	5	Max Framing CTL Interpolation	BIT1~7: VTR が方式的に意味を持つ最大のフレームングを設定。 0 = 2F LOCK 1 = 4F LOCK 2 = 8F LOCK システム設定パールの SYNCHRONIZE スイッチの設定に関わらず、ここで指定したフレームング以下で該当する VTR をコントロールする。 BIT8: 1 = タイムコードの CTL 補間が可能 0 = 不可能
	6	CF Status Enable Max Frame Lock Time	BIT1: 1 = VTR からの CF ステータス有効 0 = 無効 BIT2~8: VTR がフレームロックするまでの最大時間を設定。(フレーム単位)
	7	Preroll Speed	プリロール (CUE UP) を行うときの、SHUTTLE の最高速度を倍速で設定。 FF = FF/REW モードでコントロール

<sup>1</sup> BVE-900(Ver1.04)では、CUE UP WITH DATA による CUE UP はできない。

## BVE-800 の設定

2. RECORDER の 9PIN INTERFACE BOARD 上の SW1, SW2, SW3 を以下の設定にする。

	SW1		SW2								SW3							
	P/R 設定		編集タイミング*								PLAY タイミング*							
	RECORDER		-6 フレーム								-1 フレーム							
	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-HD150	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON			ON		OFF	ON	ON	ON		ON		

(表中の空白は変更しない)

1. PLAYER の 9PIN INTERFACE BOARD 上の SW1, SW2, SW3 を以下の設定にする。

	SW1		SW2								SW3							
	P/R 設定		編集タイミング*								PLAY タイミング*							
	PLAYER		-6 フレーム								-7 フレーム							
	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
AJ-HD150	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON			ON		OFF	OFF	OFF	ON		ON		

(表中の空白は変更しない)

SW2-7 (タイムコード不連続処理) : ON = CTL 補正をしない

SW3-6 (調相精度) : ON = ±0 フレーム

\* SETUP-MENU 307:AFTER CUE-UP を STOP (0000) に設定する<sup>2</sup>。

参考: RECORDER が BVW-75 の場合, 9PIN INTERFACE BOARD 上の SW1, SW2, SW3 を以下の設定にする。

	SW1		SW2								SW3							
	P/R 設定		編集タイミング*								PLAY タイミング*							
	RECORDER		-3 フレーム								-7 フレーム							
	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
BVW-75	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON			ON		OFF	OFF	OFF	ON		ON		

(表中の空白は変更しない)

<sup>2</sup> BVE-800 では, CUE-UP 完了時 STOP にならないと, 編集動作に入らない。

## 9P INTERFACE BOARD (BK-809) のスイッチ設定について

### SW1 : PLAYER1/2/RECORDER 設定スイッチ

VTRの使用目的	SW1	
	1	2
RECORDER	ON	
PLAYER1		ON
PLAYER2		

(表中の空白は OFF)

### SW2-1 ~ 4 : 編集コマンド タイミング スイッチ

		編集コマンド の出力タイミング (フレーム)															
		-1*	-2	-3	-4	-5	-6	-7	-8	-9	-10	-11	-12	-13	-14	-15	-16
SW2	1	ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON	
	2	ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON		
	3	ON	ON	ON	ON					ON	ON	ON	ON				
	4	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON							

\*工場出荷値

(表中の空白は OFF)

### SW2-6 : CUE UP の選択 (本体 MP-17 基板の P-ROM (IC96 ~ 102) が Version-3 以降の場合)

ON = SEARCH モード による CUE UP

OFF = FF/REW (1sec 以上) + SEARCH (1sec 以内) による CUE UP

### SW2-7 : タイムコード 不連続処理 (本体 MP-17 基板の P-ROM (IC96 ~ 102) が Version-2 以降の場合)

ON = 不連続処理をしない。

OFF = 不連続処理を行う。(IN 点からの PREROLL, および, 調相に CTL を用いる。)

### SW2-8 : 9P INTERFACE BOARD (BK-807) では未使用

### SW3-1 ~ 4 : PLAY コマンド タイミング スイッチ

		PLAY コマンド の出力タイミング (フレーム)															
		0	-1	-2	-3	-4	-5	-6	-7*	-8	-9	-10	-11	-12	-13	-14	-15
SW3	1	ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON	
	2	ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON		
	3	ON	ON	ON	ON					ON	ON	ON	ON				
	4	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON							

\*工場出荷値

(表中の空白は OFF)

### PLAY コマンド 出力タイミング の設定方法

- ビデオ信号が連続して記録されているテープ (1分程度) を各 VTR に入れる。
- EDIT NUMBER を 900 にセット。(“EDIT#”キーを押しながら“9”, “0”, “0” と押す。)
- “PREVIEW”キーを押す。PREVIEW モードで走行し, 自動的に停止し, PREVIEW ランプが消灯すると, 同時にタイムカウンタに数値が出る。<sup>3</sup>
- この数値を, 前表のフレーム数として, SW3-1 ~ 4 を設定する。

### SW3-6 : 調相精度

ON = ± 0 フレーム

OFF = ± 1 フレーム

### SW3-7 : 9P INTERFACE BOARD (BK-807) では未使用

### SW3-8 : カラーレミング スイッチ

ON = SYNCHRONIZE スイッチ OFF の位置においても, CF 編集を行う。

OFF = SYNCHRONIZE スイッチ OFF の位置においては, CF 編集を行わない。

<sup>3</sup> AJ-HD150 を RECORDER にする場合, EDIT PRESET を選択した状態で行う。

## AJ-A900 の設定

1. RECORDER または PLAYER となる VTR の SETUP-MENU 202 : ID SEL を 「ORIG」 (0002) に設定する。

SONY 製のコントローラとつなぐ場合は、SETUP-MENU 202 : ID SEL を 「OTHER」 (0000) に設定する。

2. コントローラの VTR CONSTANT <ENTER(下ハ°ネル) + SETUP(F9)> の接続された PORT の 「1. MODE」 を 「AUTO」 (F1) に設定する。